



作品名 **「溪流」灰釉鉢**
作者 加藤 舜陶 KATO Shunto
寸法 40(幅)×42(奥)×20(高さ)cm
展示場所 長久手町役場庁舎

■作家歴

1916生まれ
天皇陛下御使用食器御用命
全国陶芸展(文部大臣賞)
日展(内閣総理大臣賞)
現在 日展評議員

■コメント

灰釉は木の灰を主体に長石(1200℃以上の高熱で溶解する石)を混入して調合する。作者の好みに応じて灰と長石の分量は多少異なる。ガラス状の透明感が美しい。釉葉の流れる特徴を利用して動的なデザインを構成する。溪谷の清水が緑陰に映えて輝く意を表現した。



作品名 **敦煌**
作者 池田 満寿男 IKEDA Masuo
寸法 26(幅)×26(奥)×46.5(高さ)cm
展示場所 中央図書館



作品名 **残っている話**
作者 村瀬 敏子 MURASE Toshiko
寸法 27(幅)×27(奥)×57(高さ)cm
展示場所 長久手町立東小学校